

## 会 議 録

会 議 の 名 称	平成17年度 第2回 岩城地域協議会
開 催 日 時	平成17年10月26日(水) 午後2時00分
開 催 場 所	岩城会館
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	前川 侖会長、東海林敬介委員、竹内善治郎委員、渡部秋美委員、高野弘美委員、伊藤修二委員、阿部一雄委員、佐々木由美子委員、今野正樹委員、須田まり子委員
会議次第	
1. 開 会	
2. あいさつ	
3. 協議事項	
1. 平成 18 年度岩城地域の地域振興について	
2. その他	
① 報告 合併協定書における調整項目の進捗状況について	
② 報告 合併に調整が必要な課題の事務調整の進捗状況について	
4. その他	
5. 閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

## ◆出席者名簿

(35名)

副会長 今野次男	委員 三浦 稔	福祉保健課長 佐々木了三
委員 進藤 貢	委員 早川あけみ	保育園長 堀井幸二
委員 長谷部鋼次	委員 川上淳子	産業課長 今野五雄
委員 三船丸男	委員 堀井ヤス子	建設課長 伊藤尚武
委員 高野啓二	委員 小林信子	生涯学習課長 岸野芳夫
委員 進藤三男		事務局 今野政幸
委員 佐々木カネヨ	区 長 岸野長一郎	事務局 尾留川真由美
委員 今野清子		事務局 高山淳一
委員 進藤敏和	総合支所長 渡部専一	事務局 今野信幸
委員 船木敬子		
委員 金森巳嗣	地域政策課長 早川修一	
委員 高橋 修		
委員 佐々木稔子	振興課長 渡部 昭	
委員 中村慶一	教育事務所長 斎藤忠廣	
委員 今野房夫	市民課長 小川 弘	

## 会議の経過

平成17年度 第2回 岩城地域協議会

平成17年10月26日(水)

午後2時00分 開会

◇副会長あいさつ

●岸野区長あいさつ

●総合支所長より岩城地域における各事業の進捗状況等について報告。

◇副会長

それでは協議事項の平成18年度岩城地域の地域振興について事務局より説明願います。

●渡部主幹兼振興課長より平成18年度岩城地域の地域振興について説明。

◇副会長

委員の皆様よりご質問ありませんか。

○A委員

今説明のあった事項は予算化されているものか。

●渡部主幹兼振興課長

平成18年度に計画されているもので、11月に予算要求していく方針である。

○A委員

これらの主要事業について、全て予算化できるのか。

●渡部主幹兼振興課長

予算要求はするが、財政が厳しいのは事実。全て予算化できるかは判らない。

○B委員

「新市まちづくり計画」に載っていないものでも予算要求できるか。

●渡部主幹兼振興課長

本計画はハード事業が中心でソフト事業は文章表現のみとなっている。よってソフト関係については予算へ反映できると思う。ハードについては極端な増額等は難しいと思われる。

○OB委員

ソフト部分において、雇用拡大・定住促進・少子化対策等は全市的な問題ではあるが、岩城地域から要望していくべきではないか。

先ほど総合支所長から三セクの話があったが、三セクの活性化・強化策を図ることで雇用拡大・定住促進・少子化対策等様々な分野に効果があるのではないか。行政側では販売促進員や指導員を置くとか、民間からノウハウを得るなど方策は様々あるのではないか。

また、松くい虫被害を受けた森林の復元も考えるべきである。加えて公営住宅の建替事業も検討するべきだ。

●渡部総合支所長

雇用拡大については、三セクの現状を考えると、経費節減等を進める方向であると思われるので難しいと考える。高速道が開通した後の車の流れが変化すると考えられるので、そういった部分の検討は今から必要と思っている。

行政側でできることとして、例えば観光案内人の養成等は必要と考えている。

●岸野区長

三セクについては、売り上げが上がりれば間に合う。地域の方々が利用してくれればやっていけるので、今後行政側はそういった部分の喚起をしていく必要がある。

道の駅は東北に175箇所あるが、岩城の道の駅はこの中で15番目の人気がある。それだけ人気があり評判も良いということ。今後どう展開していくかは、行政側の戦略、経営側の戦略、そしてここに住む人たちの戦略をトータル的に考えていく必要があるのではないか。

●今野産業課長

松くい虫に関しては、JR用地であることからJRへ申し入れをしている状態。植林はJR単独では実施せず、企業の協賛等民間の協力を得ながらやっているようである。国有林にボランティアが植林を行った例もあるので、そういった方策も検討していく。

●渡部総合支所長

松ヶ崎においてもボランティアを中心に植林が行われている。

◇副会長

この問題については今後検討していただき、可能であれば予算要求していく、ということで了解いただきたい。

○C委員

今ある施設を活用する方法を検討すべき。花ひろばと赤平にハウスがあるが、これを借りることは可能か。

●渡部総合支所長

基本的に補助事業で整備しているので、利益事業は不可。研究等の目的で団体などが実施するとすれば可能な部分もある。

○C委員

その場合、手続きが必要か。計画書とか。

●渡部総合支所長

当然申請なり計画書なりは必要。

○C委員

営利でなく自分で食べるぶんにはいいのか。

●渡部総合支所長

収穫できるものなので捨てるということとはできないと思うが、計画の中身が研究や公共・公益に役に立つものであれば、貸付できる部分もあると思う。

●岸野区長

行政側で答えると今の答え。私はそういう発想はない。私は、ある施設はどんどん市民に使ってほしい。そういう声をどんどん出してほしい。

○D委員

提案をしたい。観光案内板の整備について英語表示の併記が計画されているが、英語のみでなくハングル、中国語等も併記してはどうか。また、民間でのパンフレット作成等にあたり、外国語標記に対する補助金制度はできないか。

さきほど三セクの話があったが、三セクは最終的には行政と離れて自立していくものだ。儲かる経営のできる人を登用するべきだ。

また、私は亀田城美術館でCGアートをやっているがお客さんが来ない。コーヒーラウンジを設けてはどうか。地域住民の語らいの場を作ることでも美術にも関心をもってもらえる。

●渡部総合支所長

外国語標記についてはご意見を参考にさせていただく。三セクについては、会社の経営に関することなので回答は控えさせていただく。

●齊藤教育事務所長

地域の方々に気軽に来ていただける施設づくりは大切と考えている。コーヒーラウンジについても美術館の運営委員会のご意見も伺いながら検討してみたい。

○A委員

計画の内容等についてもっと具体的に掘り下げて検討したいが、今後そのような計画はあるか。

●渡部総合支所長

11月に基本構想の協議をお願いしたいと考えている。今回の協議は予算編成にあたり皆さんのご意見を伺い反映できるものはしたい、というもの。

○E委員

高度情報通信の関係で、上黒川地域はこの計画に入っているのか。

●渡部主幹兼振興課長

計画には入っているが、移動通信用鉄塔整備にあたっては通信事業者の同意が大前提となる。現在のところ通信事業者からはその連絡は入っていない。

○F委員

鶴潟の山際から土が流出している。災害に備えての対応はするのか。

●渡部総合支所長

現場を確認し検討する。危険箇所であれば当然予算要求する。

◇副会長

ご質問、ご意見については、ひととおりの出たようです。来月も開催を見込んでいるようですので、その時

にもこうした機会を設けますのでよろしくお願いします。

これより確認します。協議案件(1)「平成 18 年度岩城地域の地域振興について」は原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

《異議なし》

◇副会長

異議なしの声がありました。協議案件(1)「平成 18 年度岩城地域の地域振興について」は原案のとおり確認されたものと認めます。

● その他 報告事項 総合支所長説明(略)

閉会 午後3時45分